

2021年11月18日
西日本旅客鉄道株式会社

岡山・備後エリアへの新型車両導入について

JR西日本では、人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会の実現に貢献するべく、地域の皆様と西日本エリアの活性化を通じて地域価値の向上に向けた取り組みを進めています。

このたび、岡山・備後エリアにおいてさらなる安全性・快適性・利便性の向上ならびに省エネ化等持続可能な鉄道運行の実現のため新型車両を導入します。

1. 導入する新型車両

広島エリア、和歌山エリアで運転中の227系近郊形直流電車をベースとした新型車両

2. 導入線区

山陽線などへ導入予定

3. 車両数

2両編成と3両編成の計101両

4. 導入時期

2023年度以降、順次導入予定 ※既存車両と順次入れ替えて導入します。

5. 新型車両イメージ



※色・デザインは別途検討

(イメージ写真は広島エリアで運転中の227系)

6. その他

新型車両の詳細仕様、色・デザイン等は決まり次第随時お知らせする予定

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、11番、13番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。